

イラスト 本田 ふみ

水と土と窒素を過剰輸入する国で

日本の食糧自給率が40%を切っていることはよく知られている。ところがそれによって大量の水と土、そして窒素が日本に持ち込まれていることへの認識は薄いように思われる。農業については敏感に反応する消費者も窒素の過剰輸入がもたらす危険性への反応は弱い。日本列島に年々蓄積される輸入窒素の量は世界でも突出していて、硝酸性窒素となって地下水を汚染し続けている。今の時期仙台湾の沖合いを赤く染め尽くす赤潮の原因でもある。過剰窒素の害を減らすための一つの策は窒素化学肥料を減らし、堆肥の形で窒素を使い地力を高める有機農業を広めることである。環境保全米ネットワークを立ち上げた所以である。

会員が徐々に増え、新JAS法による有機認定を望むようになり、ワンステップとしてNPO法人になり、次に大きくジャンプして登録有機認定機関になった。ところが、これが予想以上に大きい一歩だったことをじわじわと実感しつつある。

辻井喬は『終わりからの旅』（朝日新聞連載中）で主人公の一人に「経営者になるというのは一現実性の代わりに数値で現実を認識出来たと思える人間になることかも」と言わせている。とっさに経営者を有機認定機関とすっぱり言い換えたい気持ちになった。

個々の生産者と直に話し合い、人間としての信頼を通して有機農業を広めていくという従来の路線だけでは対応できなくなってきた。生産現場の現実の姿を過不足なく、しかも煩雑でなく表現出来る書類の様式の作成に担当者は試行錯誤を繰り返しているが、現実を数値で認識することがどこまで可能だろうか。

せんだい・みやぎNPOセンター理事 横須賀 和江

内容

4月からの事業展開について
仙台市市民活動サポートセンターの指定管理者制度について
「みやぎNPO夢ファンド」審査を終えて
らくだのブクブク・センターサロン
評議員会報告・BOOK・新スタッフ紹介・事務局活動報告、など

● 4月からの事業展開 ●

多様な関係者が中核事業を支える事業展開を

せんだい・みやぎNPOセンターは、この春から右記の事業に取り組んでいます。それぞれの事業は、地域社会の多様な関係者の方々と力を合わせなければ、成果を上げられないものばかり。スタッフ一同、皆さんとどんな連携・協力関係が築けるか楽しみにしています。

今まで以上のご協力とご支援をお願いいたします。

● サポート資源提供システム

サポート資源提供システムとみんなファンドは、宮城県からのみやぎNPO夢ファンドの受け入れも伴って拡大・充実してきています。今後もセンターの主要事業として成長させたいと考えていますが、運用費の確保が大きな課題です。運営委員の企業・団体の皆さんとより安定した運営を目指していきます。

● せんだいCARES

昨年11月に第1回のキャンペーンを成功させた「せんだいCARES」を今年度も実施していく予定です。昨年と同様にサポート資源提供システムやみんなファンドとの連動で相乗効果が期待できると考えています。CARESを幅広い企業人・市民の活動参加の入り口として運営し、サポート資源提供システム&みんなファンドへつなぐことが、今期の目標です。

そして「せんだいCARES」を、企業人の個人参加も含めた実行委員会方式で多様な参加を可能とする運営によって、仙台名物の市民活動のキャンペーンに育て上げたいと思います。

● みやぎのNPOの政策提案力をつける連続講座

この講座は、情報公開制度などを活用して、県内のNPOの政策提案能力の向上を図るというものです。講師に、情報公開などの専門家を招くと同時に地域NPOの実例も合わせて学

び、政策提案づくりのワークショップを実施します。当センターでは、昨年から政策提案に関する調査を実施していますので、その結果を本講座にも生かしていきたいと考えています。

● 仙台市市民活動サポートセンター5周年

仙台市市民活動サポートセンターは、今年開館5周年を迎えます。記念企画と記念誌の発行を予定していますが、運営面では、この4月より仙台市との契約が指定管理者制度に移行しました。また、今年5年目を迎えた職員を中心に、5人が巣立ち、新たに5人が加わった体制で新年度を迎えました。これらを契機として、より利用者のニーズにあった管理運営と提案すべきノウハウを見極め、事業を進めていきます。さらには、支援室との連携を強め、仙台市の「市民協働」に関する提言的働きかけを通して、仙台市の協働推進環境を向上させるべく努力していきます。また、「協働の手引き作成」(現在、仙台市の「協働を成功させる手引き作成に係わる助言等業務」受託中)や施設職員研修、市職員研修などを通じて当センターならではの提案・協力を推進します。

ほかの継続事業なども、地域の状況や社会環境の変化を読みとりながら、事業企画を革新・進化させ、よりきめ細かい支援ができるよう取り組んでいきたいと思ひます。

気になる事業がございましたら、お気軽に事務局までお問い合わせください。また、より一層のご協力もお願いいたします。

●この春からの事業紹介

事業名	事業内容
サポート資源提供システム	企業や市民と連携し、資金(みんなファンド)・物品・PCなどをNPOに提供し、新しい社会貢献を進めます。この仕組みを応援してくれる協賛・提携企業・団体さんを募集中。
地域貢献活動サポートセンター	企業や個人が地域貢献活動をするために、どんなところから取り組んだら良いか、などのご相談を受付ます。お気軽にお電話をどうぞ。
NPO情報ライブラリー	NPOの情報を公開し、社会への情報提供を行うことでNPOの社会的認知度の向上を目指す仕組みです。当センターにNPOのファイルを準備している他、一部はWEBで見ることができます。登録NPO大募集。
せんだいCARES	今年も11月にキャンペーンを実施します。企業人や市民が多くのNPOの活動に参加することで仙台を「ケア(CARE)」します。今年は、実行委員会形式で実施。一緒に盛り上げたい方、集まれ!
コミュニティビジネス	コミュニティビジネスの本質を学び、企画を実践しながらノウハウを学び、ネットワークを築きます。市場的資金が循環する持続可能な事業モデルを考えているNPOの方は、ぜひお問合せください。主催:仙台市産業振興事業団
アドボカシー関連	○NPO法制度部会:NPO法、NPO税制、公益法人改革などにNPOの視点から学習会を開催します。 ○(調査)NPOの政策提案力開発とNPOの参画を保障する自治体の政策形成システムの提案:昨年に引き続き実施予定。 ○みやぎのNPOの政策提案力をつける連続講座:情報公開の仕組みなどを活用し、NPOの政策提案力をアップするための学習会を開催します。
センドラードサロン	NPOの活動上の課題の一つである「ネットワーク形成」を促進し、交流・力づけのための場づくりを行うことで、NPOを支援し地域課題の解決につなげます。市民活動の交流広場としてNPOの方に親しまれています。社会問題、NPOの力づけ企画、ネットワークづくりなどのテーマを選んでサロンを開催中。
NPO経営相談	聞くに聞けない団体の運営・経営の悩みや困りごとに当センターの代表理事・加藤がお答えします。月に1回、特別料金で実施中。予約制ですので、お申込みは早めどうぞ。
書籍販売みんな堂	NPOの基礎からマネジメント・会計など様々なテーマの書籍を販売中。ホームページにも書籍一覧を掲載中。ファックス、メールでの注文も大歓迎。
すくすく市民プロデューサー養成講座	宮城県内の青少年育成プログラムへの講師派遣。NPOへのインターンシップや企画講座を通して、若者のスキルアップを図ります。主催:宮城県
講師派遣	当センターのスタッフが講演・ワークショップに伺います。対象は、市民・NPO・行政・企業など様々。ホームページにこれまでの実施記録を掲載中。問合せお待ちしております。
視察・ヒアリング	企業・行政・NPOからの視察・ヒアリングのご依頼にお答えします。わかりやすい説明と適切な資料を準備してお待ちしています。有料、予約制です。
仙台市 市民活動サポートセンター	仙台市の市民活動支援施設の管理・運営を受託(指定管理者)しています。年間利用者は4万人を超え、NPOの活動に役立っています。 ○開館5周年記念事業:施設がオープンして丸5年を迎える今年、記念イベント・講演会を実施。1部のテーマは「協働」、2部のテーマは「公共施設の未来:市民の情報発信」(仮)です。乞うご期待! ○サポートセンターまつり:たくさんの市民活動団体の協力をいただき開催。多くの市民とNPOが出会う場作りを実施予定。 ○人材育成講座:NPOの人材育成のために効果的な講座を開催します。 ○市民活動起業講座:まちの課題を解決する活動をはじめるためのノウハウをレクチャーしたり、活動者の方の実体験を聞きます。

● 報告：仙台市市民活動サポートセンター ● 指定管理者制度への移行にあたり...

せんだい・みやぎNPOセンターの重点事業の一つである市民活動サポートセンターの管理運営は、当センターが仙台市から受託して行っておりますが、指定管理者制度導入により、2004年4月1日から3年間、指定管理者として管理運営を行うことになりました。

これにより、貸室、ロッカー、レターケースの使用許可については、現在、当センター名で行うことになりました。その結果、ロッカー、レターケースの使用許可に関しては、決済の仕組みが変わったことで、これまでより2～3日早くお出しすることができるようになりました。今後もこうした利用者の利便性の向上につながるような、工夫と改善に努めていきたいと思えます。

また、これまでの5年間に培ったノウハウを

基に、市民活動に関する市民ニーズの変化を的確にとらえ対応できるよう、スタッフ一同、努めて参ります。何かお気づきの点がありましたら、お気軽にお声がけください。

●指定管理者制度とは・・・

地方公共団体が指定する民間事業者・その他の団体に、公の施設の管理を代行させる制度で、地方自治法の改正（平成15年6月）により生まれしました。

●参考

「事務局通信 みんな vol.38」(2004年、1月18日発行)「民間NPO支援組織の今を分析！」に指定管理者制度の影響や民の主体性に関する記載があります。併せてご覧ください。

(仙台市市民活動サポートセンター長 青木ユカリ)

みんみんファンドの中に宮城県が設置した冠ファンド「みやぎNPO夢ファンド」の公開審査が5月8日と15日の2週にわたって行われました。

初めて行われる今回の公募には、全部で39団体が応募、書類による1次審査を通過した24団体のうち22団体がプレゼンテーションに臨みました。その結果、人材育成支援プログラム(NPOの組織を支える人材を対象にする研修事業助成)は5団体、ステップアップ支援プログラム(本県におけるモデルケースとなる先進的事業に最長3年間継続で、助成額100万円の助成)は2団体、スタートアップ支援プログラム(既存団体の新規事業立ち上げ、新規団体立ち上げ支援の助成)は6団体に決定しました。

設置：宮城県
事務局：せんだい・みやぎNPOセンター

「みやぎNPO夢ファンド」審査を終えて

今回の目玉は、やはりステップアップ支援プログラム。4団体による10分間のプレゼンテーションと10分間の質疑応答からは、まさに今わたしたちの地域社会で起きている深刻な問題に真剣に取り組んでいるNPOの状況が伝わってきました。審査員からは事業計画としてこの3年間で具体的にどんな成果を出すのかといった突っ込んだ質問もありました。

わたしたちの税金の行方がどんな社会的成果を生み出すのか、選ばれた団体のこれからの活動に注目したいコンペでした。

(みんみんファンド担当)

紅呂 眞子

●コンペの結果は、宮城県のホームページで環境生活部・NPO活動促進室「みやぎNPO夢ファンド」をご覧ください。



..... これからの展開・実施について

NPOの皆さんに親しまれているこのサロンの開催の仕組みを2004年に入ってから見直すことになりました。これまでは、担当スタッフ3名が毎月実施してきましたが、この5月からは当センターのスタッフ全員が月ごとに企画・実施を担当することになりました。

事業目的はこれまでと変わりありませんが、改めて表現すると「NPOの活動上の課題の一つであるネットワーク形成を促進し、交流・カブけのための場づくりを行うことで、NPOを支援し地域課題の解決につなげること」。

サロンのタイプとしては、ネットワーク推進型、レクチャー型、現場見学型などに分けられるかと思えます。

スタッフ一同、NPOのネットワークづくりのお手伝いができるよう、役に立つ楽しいサロンづくりをしていきたいと思えます。

会員の皆さんも気になるテーマやネットワークづくりのご提案がありましたら、事務局までお寄せ下さい。よろしく願いいたします。

■今後の予定

- 5/26 (水) 担当：中津涼子
NPO 「新」スタッフ交流会
会場：せんだい・みやぎNPOセンター
- 6/24 (木) 担当：真壁さおり
人とペットのよりよい関係づくりのためにNPOができること
会場：仙台市市民活動サポートセンター研修室1
- 7/27 (火) 担当：遊佐さゆり
募金箱づくりワークショップ
会場：仙台市市民活動サポートセンター研修室1

(センタードサロン担当：遠藤智栄)



..... 2004年4月20日に開催
11名が参加

去る4月20日、第7回評議員会が開催されました。評議員会は春と秋の年2回開催しており、当センターの運営状況について、多様な立場の方から意見をいただく機会となっています。今回は評議員31名中、11名がご出席。欠席された4名からはメッセージが届き、他に理事7名、スタッフ6名が出席しました。

まず、代表理事と常務理事が昨年11月から本年4月までの事業報告と、4月以降の事業運営の見通しについて報告。その後、自由な意見交換を行いました。今回は特にNPO同士のネットワークや、セクターを越えての協働について、様々なご意見をいただきました。その一部をご紹介します。

※現在NPOは法人数の伸びと共に社会的な認知は進んできています。しかし残念なことには法制度の悪用や詐欺まがいなど、NPOの信用低下につながるニュースも流れています。

※企業にはNPOへの支援や連携をイメージアップに結び付けて、負の部分の埋めているところもあります。企業の社会的責任を求める時世だからこそ、NPOには企業を評価する尺度をつくっていく役割が求められています。企業から協賛を集めることも大切ですが、ひも付きになっては困ります。※市民との連携、地域との協働、企業との協働が増えれば、お互いの相乗効果でもっと可能性が増えると思えます。

※政策提案は新しくNPOに関わる人を増やし、市民の世論形成につながります。

※「協働」は地域が生き残って活性化していく最後の方法と言えます。山や谷を乗り越え協働に向かって進んでいくという大枠の認識が必要です。

いただいたご意見を真摯に受け止めて、今後の事業展開に活かしていきます。ご期待ください。

(総務担当：遊佐さゆり)

BENYのはみ出しエッセイ ◆らくだのブクブク◆ vol.10

「ファンレターの効能」

常務理事・事務局長 紅邑 晶子

毎月、何通ものニュースレターが送られてきますが、その中で、必ず読むことにしているコラムがいくつかあります。読みながら、その書き手の顔を思い浮かべてクスクスしたり、いまこんな仕事をしているのか、こんなこと考えているのかと、毎回楽しんでます。そんなある日、わたしはあるコラムの書き手にファンレターを書きました。「いつも楽しみに読んでいます。これからも、楽しみにしています。」と送ったところ、初めてこういう感想をもらったと、とても喜ばれました。これはちょっと驚きでした。全国的にたくさん読者がいるニュースレターの巻頭を飾るコラムだったからです。

ある日のこと、NPOの人たちとの交流会の席で、「らくだのぶくぶく、読んでますよ。」と声をかけられました。読んでいてくれる人がいたことがうれしくて、思わず握手してし

まいました。

わたしたち中間支援といわれるNPOの活動は、「こんなふうになりました!」と、わかりやすい成果や結果が出るのには時間がかかります。ですから、その活動に共感してもらうことも、理解してもらうことにも、大変な努力が必要です。成果を出す途中で「がんばっているね」「期待しているよ」なんて声援は、皆さんが想像する以上にうれしいことです。でも、こういう声援ってなかなかダイレクトには聞こえてこないものなんですね。内輪で誉めあうのもなんですが、同じ体験を持つ仲間だからこそ、その苦労も、楽しさもわかったうえで、共感した言葉を伝えることがあってもいいんじゃないかなと思います。その言葉は、温泉で疲れを癒すように、じんわりと明日からの活動を続けていく励みとなってよく効くものです。

本書は、「NPO」とはなにか、との最初の一步から法人化設立の手順・ツボにいたるまで細かく細かく題材を分けて解説している。だからふとした疑問も解決し、次のステップに進んでいける。実例をあげながらNPOの社会的な役割、企業や行政との違い、さらに進むと巻き込み方もも解説してあり、団体が活動していく上でのHow toになる。

「なんてわかりやすいんだろう!」これが当センタースタッフなりたての私の率直で正直な感想だ。このところ「NPO」とは何たるか?をもっと自分に落とし込むために以前に書かれた本を読み返そうとしていた矢先に、この本を読んだ。頭で理解していても、今ひとつ消化していなかった所がどどん霧が晴れるように自分の中に浸透していった。

料理に例えるなら、「NPO」という一品の中に盛り込まれている調味料や隠し味を本書では十分具体的に教えてくれている。何か取っかかりをつきたい人やそれぞれの分野で既に活動をされているNPOスタッフにもお勧めの書である。「NPO」のもやもやしたものごとく晴れるはず、と確信する。
(仙台市市民活動サポートセンター・伊藤浩子)

漠然と何かやってみたいと考えている人には、まず自分が持っている関心や問題意識を自分で発見し、頭より先に手を動かそうと言っている。情報収集をしてみる、出逢いの場に足を運ぶといった今にも出来そうなヒントが書かれてある。そして、自分が始める活動に自分がいくら投資できるか?見返りは現金配当ではなく、社会的な成果である、と著者は語っている。



『一夜でわかる!』
「NPO」のつくり方

主婦の友社 1365円(税込)
加藤 哲夫 著

事務局活動報告
(2004.2/20~5/20)

活動
報告

■事務局/自主事業関連

- ・センター会議 (2/25・3/31・4/28)
- ・事業・運営会議 (第77回:2/26 第78回:3/8 第79回:3/23 第80回:4/8 第81回:4/23 第82回:5/10)
- ・みやぎNPO夢ファンド運用委員会/公開コンペ (3/2 5/8・15)
- ・仙台市市民活動サポートセンター全体ミーティング (3/3・10・17・24・4/7・14・21・5/12・19)
- ・みやぎNPO支援センターネットワーク「仙台市民オンブズマンに学ぶ」(3/3)
- ・アドボカシー研究会/神戸 (3/5・6 加藤・紅邑・高田)
- ・企業とNPOの交流・連携のための連続フォーラム2003「企業が動くと地域はもっと住みやすくなる」(3/11加藤・遠藤智・渋谷)
- ・コミュニティビジネス実践研究会 (3/16 紅邑)
- ・理事会 (第56回:3/19 第57回:4/17 第58回:5/20)
- ・事業企画戦略会議 (3/19・4/9・5/14・5/20)
- ・サポート資源提供システム運営委員会 (3/25)
- ・基礎をしっかりと学ぶ会計実務研修会/共催:(特) エス・ピー仙台 (4/26 遊佐)

■NPO/企業関連

- ・グリーン電力基金運営委員会 (2/24 紅邑)
- ・「NPOいるのはいい」/主催:ベガルタ仙台・ボランティア・ネットワーク (2/26 遠藤)
- ・「まちづくり条例」意見交換会/主催:仙台商業政策協議会 (2/26 紅邑)
- ・白河市経済同友会 (2/26 加藤)
- ・NPOフォーラム「これからの公共を考えるフォーラム～市民およびNPOと行政の協働とは～」/主催:(特) いわてNPO-NETサポート (2/28 加藤)
- ・市民活動スキルアップ講座「アイデアを魅力ある事業にするために」/主催:福島県中地域NPOネットワーク (2/29 紅邑)
- ・県民社会貢献活動リーダー等研修/主催:勝山市民活動ネットワーク (3/7 加藤)
- ・NIRA・コミュニティ再生研究会/主催:東北開発研究センター (3/8・21・22・4/1・2・19・23 加藤)
- ・「NPO活動リーダーに必要なスキルとIT活用方法」/主催:(特) 仙台インターネット推進研究会 (3/12 高田)
- ・第9回Vnetセミナー「市民参画の仕組みづくり～社会教育施設とボランティアのコラボレーション～」/主催:Vnet社会教育施設ボランティア交流会 (3/12 加藤)
- ・喜多方市市民活動サポートネットワーク (3/14 紅邑)
- ・(特) 日本NPOセンター理事会 (3/15 加藤)
- ・(特) 市民社会創造ファンド (3/15・5/14 加藤・紅邑)
- ・「まちづくり条例シンポ」/主催:仙台商工会議所 (3/16 紅邑)
- ・日本NPO学会 (3/20 加藤)
- ・百万人の仙台都市デザインフォーラム～/主催:(特) 都市デザインワークス (3/24 紅邑)
- ・職員研修/主催:(特) 社の伝言板ゆるる (3/28 松尾)
- ・21世紀臨調 (4/12・5/20 加藤)
- ・冠ロータリークラブ例会 (4/14 加藤)
- ・HIVと人権・情報センタースタッフ研修 (4/22 加藤)
- ・宮城県地球温暖化防止活動推進員研修事業企画検討委員会/主催:(財) みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (5/7 遠藤智)

■自治体関連

- ・宮城県地域づくり研修会/宮城県地域振興課 (2/20 遠藤智)
- ・「わかる!できる!マネジメント講座」仙台市市民活動サポートセンター人材育成講座 (2/21)
- ・福室市民センター (2/21 田中)
- ・福島市市民活動サポートセンター検討懇談会 (2/24 加藤)
- ・市民センター職員接遇研修/主催:仙台ひと・まち交流財団 (2/26・27 紅邑・真壁)
- ・地域づくり・NPOネットワーク交流促進事業「まちづくりに必要なこと」/主催:水沢地方振興局 (2/27 加藤)
- ・花と緑のアドバイザーフォローアップ講座/主催:(財) 仙台市公園緑地協会 (2/26・3/4 青木・小口・渋谷)
- ・市民企画講座「みんなで話して作る《輪》《話》《和》」/主催:仙台市中央市民センター (2/21・28・3/6 田中)
- ・石巻地域新市まちづくり計画検討委員会 (3/1 加藤・紅邑)
- ・我孫子市市民活動レベルアップセミナー「ミッションに沿った事業の進め方と事業計画のあり方」/主催:我孫子市 (3/4 加藤)
- ・南郷町男女共同参画ネットワーク研修会/主催:南郷町 (3/13 加藤)
- ・塩釜学まちづくり学習 大好き・しおがまシンポジウム/主催:塩釜市 (3/13 紅邑・田中)
- ・これからの屋敷林を考える討論会/主催:仙台市建設局 (3/14 青木)
- ・仙台市太白区まちづくり活動助成事業評価委員会 (3/14・16・22・24 遠藤)
- ・最上オープンカレッジ「今こそ市民活動を!!」/主催:山形県最上総合支庁 (3/17 加藤)
- ・みやぎNPO活動企画コンペ報告会/主催:宮城県 (3/21 松尾)
- ・(財) 宮城県地域振興センター評議員会 (3/22 紅邑)
- ・茅ヶ崎市民活動フォーラム2004「今、茅ヶ崎がめざす協働のあり方～協働事例と財政的支援について～」/共催:茅ヶ崎市、(特) 茅ヶ崎市民活動サポートセンター管理運営委員会 (3/27 加藤)
- ・福島市市民活動サポートセンター検討懇談会 (4/13・4/27・5/11 加藤)
- ・仙台市社会教育委員の会議 (4/13 紅邑)
- ・平成16年度職員研究員研修「外から見た都市総研、公共を担う市民の力、行政と市民との対話等」/主催:仙台都市総合研究機構 (4/23 加藤)
- ・協働推進WG/仙台市市民局 (4/26・5/10 加藤・紅邑)
- ・平成16年度課長補佐級研修「教養講話」/主催:山形県職員研修所 (5/11・18 紅邑)
- ・平成16年度監督者研修。「NPO(市民との協働について)」/主催:宮城県市町村職員研修所 (5/12・19 加藤)
- ・みやぎNPOプラザ運営協議会 (5/12 高田)
- ・平成16年度係長研修「市民協働とその実際」/主催:仙台市職員研修所 (5/18 加藤)

■相談、ヒアリング関連

- ・経営相談 (3/18・4/21・5/13 加藤)
- ・ヒアリング:(株) 富士通総研 (2/24)
- ・ヒアリング:(特) 宝塚NPOセンター (2/24)
- ・ヒアリング:(特) FUSION長池 (2/24)
- ・ヒアリング:ほくとう総研 (2/27)
- ・ヒアリング:(財) とちぎ研究機構 (3/13)
- ・ヒアリング:(財) 自然環境研究センター (3/26)

サポート・ご協力 ありがとうございます

- 平成16年度会員 (敬称略順不同、2004/2/20-5/20)
(新規入会) 上野裕子 田中聡子 (特) 子育てネットワークバルボンさん
- 平成15年度会員
(新規入会) 上田由美子
(継続・正会員・企業) (株)東日本放送
(継続・正会員・団体) くりこま高原自然学校
(継続・正会員・個人) 岡本章子 遊佐美由紀 佐藤覚治 古川隆 川崎あや
(継続・準会員・団体) (特) 仙台インターネット推進研究会
(継続・準会員・個人) 後藤美香 熊谷龍一 大泉太由子
- 企業・団体協力 (五十音順、敬称略)
岡元タイル(事務局スペースを社会貢献価格にて) 富士ゼロックス(カラーコピー機を社会貢献価格にて)



事業のご案内

■NPO経営相談
日程: 6/15 7/21 時間: 13時~17時 (1時間単位)
会場: せんだい・みやぎNPOセンター
料金: 1時間あたり2500円 (会員500円割引)

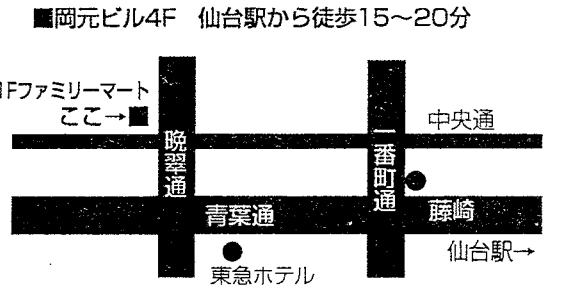
■セナードサロン
「人とペットのよりよい関係づくりのためにNPOができること」
日時: 6/24 (木) 19時~21時
会場: 仙台市市民活動サポートセンター研修室1
参加費: 500円 (事前申込が必要です)

●新スタッフ紹介 ●
仙台市市民活動サポートセンター勤務
○氏名: 渡辺 幸代
○出身: 福島県いわき市
○特技: ..どんなに落ちこんでいる時でも、子どもと幼児体操を踊ると元気になること? (特技というより好きな事です)
○抱負: ..学生時代のボランティア活動。その後、社会人となり活動から離れるものの、その魅力・可能性を再認識し、今回改めて市民活動に関わることとなりました。「市民活動を通じて、人と人がつながる」。そのお手伝いができるよう、あらゆる方から学び、自分を生かしていききたいと思っています。

Eメールを お知らせ下さい

当センターでは、会員の皆さんへのサービスとして、Eメールによる情報提供を実施しております。Eメールを送受信できる環境にある会員の方方で、まだメールアドレスを事務局にお伝えいただいていない方は、ぜひご連絡下さい。 minmin@minmin.org

せんだい・みやぎNPOセンター
〒980-0804 仙台市青葉区大町2-6-27 岡元ビル4F
tel 022-264-1281 fax 022-264-1209
E-mail minmin@minmin.org
http://www.minmin.org/
会費・寄付はこちらにどうぞ!
郵便振替: 02260-3-16325
加入者: せんだい・みやぎNPOセンター



みんな編集後記

■夜になると、近くのラーメン屋さんの入り口中央に必ず黒猫が座っています。それも、野良猫のようです。勝手に招き猫になっているのが、なんだか面白く、店もだんだん繁盛しているようでもあり、不思議な関係です。(紅邑) ■端午の節句の頃になると、私は無償に秋田で食べていた「笹巻き」が食べたくります。そんな折偶然にも、東京出身の方が秋田の風習や食について絶賛している本に出会いました。見慣れてしまった風景や風習にこそ、大切にすべき事があるのかもしれないね。天花を応援しながら今年は仙台のいいところ探し、いいところ発信をしてみませんか。(小松) ■私のふるさとに雑誌の温泉特集で上位に入った名湯がある。そこは仙台から車で1時間半あまりで風光明媚。散策路もある。知人によれば町では仙台会員なるものを設定し温泉も低料金。また情報を発信し仙台から人を集めているという。むむむやるな! という感じ。実は当センターTさんも常連! (遠藤ち)

※事務局通信の号数表示の訂正: 2004.1月号がvol.37、3月号がvol.38、本号がvol.39になります。失礼いたしました。